

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業
エイズ動向解析に関する研究
分担研究報告書

従来の NGO 等による MSM に対する普及啓発の効果検証と新規感染者減を目的とした普及啓発の地域、集団、時期及び方法の検討

研究分担者：金子典代（名古屋市立大学看護学部国際保健看護学）

要旨

本研究では、日本国籍若年 MSM が多く来場する名古屋市無料 HIV 検査会受検者の社会、疫学的情報を明確化し、有効な普及啓発を検討することを目的とする。調査対象は、名古屋市無料 HIV 検査会に来場したものとす。平成 30 年度第 1 回検査会では、女性を除く総計 648 名の回答を得た。受検者のうち、東海地域居住するものかつゲイバイセクシュアル男性 499 名に限定し分析を行い基礎集計を算出した。また、生涯の検査経験の有無別に解析を行った。その結果、年齢が若い 20 歳代の方が年齢が高い 30 歳代以上のものと比べて、また中学高校卒業のものの方がその他の学歴より、公務員・会社員の方が生涯の HIV 検査経験を有する割合が低かった。過去 6 か月の男性との性交渉経験があるものの方がいないものより検査経験割合が高かった。友達やセクフレ、その場限りの相手との性交渉の際、コンドーム使用がない人の方が生涯の HIV 検査経験がない者の割合が高かった。平成 30 年名古屋市無料 HIV 検査会の受検者アンケートにより受検者の特性、生涯の HIV 検査経験別の特性が示された。より検査が必要な層を検査に呼び込むための方策の考案に活用することが望まれる。また、今後は名古屋医療センターの受診者群と検査会受検者データを比較し、より感染リスクがある層の背景を明確化し、有効な検査普及啓発への検討へとつなげる必要がある。

A. 研究目的

新規感染者数の抑制と早期診断のために、男性間で性的接触を行うもの、その他の層の実態を把握し、効果的な知識の普及啓発、検査の普及が重要となる。本研究では、日本国籍若年 MSM が多く来場する名古屋市無料 HIV 検査会受検者の社会、疫学的情報を明確化し、有効な普及啓発を検討することを目的とする。また最終的には、名古屋市無料 HIV 検査会の受検者動向の推移を見ることで啓発効果を検証する。

B. 研究方法

調査対象は、名古屋市無料 HIV 検査会に来場したものとす。検査会では、会場にて、スタッフがアンケートへの協力を口頭にて依頼し、検査会場（採血前）にて、受検者に記入を依頼した。質問項目は、基礎属性、検査受検歴、性行動、性感染症の罹患経験、予防啓発の認知を含んでいる。

データの解析には SPSS-ver19.0 を用いた。統計学的有意水準は 5% を採用した。なお、全ての調査は名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より承認を得たうえで実施した。

C. 研究結果

全体の基本属性は、20-30 歳代が合わせて 67% であり、居住地は名古屋市が 43%、愛知県(名古屋市除く)が 35.7% であった。性指向はゲイが 86%、バイセクシュアルが 14% であった。既婚割合は 3% であった。一番最近に受けた HIV 検査は過去 1 年以内と回答したものが 49% であった。今回の検査を受検する理由はほかの人に感染させたくないからが 37% と最も多く、自分が感染している可能性があるから続いて多かった。生涯の検査経験別にみると検査経験の有無と年齢、学歴、身分、過去 6 か月のハッテン場の利用、過去 6 か月の男性との性交渉経験、友達やセックスフレンド、その場限りの相手との性交渉時のコンドーム使用に関連が見られた。年齢が若いほうが高いものと比べて、また中学高校卒業のものの方がその他の学歴より、公務員・会社員の方が生涯の検査経験を有する割合が低かった。過去 6 か月の男性との性交渉経験があるものの方がいないものより検査経験割合が高かった。友達やセクフレ、その場限りの相手とのコンドーム使用がない人の方が生涯の検査経験がない者の割合が高かった。

D. 考察

本検査会の来場者のうち 95%は過去 6 か月に男性との性行為経験を有しており、ある程度性行動が活発な層を呼び込むことができている。

特にこのような検査会は生涯検査を行ったことがないものに対する初回の検査機会提供となり、検査のハードルを下げ、今後の保健所等での定期的な検査受検につながることを望まれる。生涯の検査経験の有無別に比較検討を行うことにより、生涯初の受検者の特性が示された。より若い者、公務員会社員の方が検査経験が少ないもの、過去 6 か月に性交渉を行ったがコンドームを使用しなかったものがより検査会に誘導すべき層であることが示唆された。今後はこれらの層に届く予防啓発のあり方についても考案していく必要がある。

E. 結論

平成 30 年名古屋市無料 HIV 検査会の受検者アンケートにより受検者の特性、生涯の HIV 検査経験別の特性が示された。より検査が必要な層を検査に呼び込むための方策考案に活用することが望まれる。また、今後は名古屋医療センターの受診者群と検査会受検者データを比較し、より感染リスクがある層の背景を明確化し、有効な検査普及啓発への検討へとつなげる必要がある。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Kaneko N. Factors associated with cervical cancer screening among young unmarried Japanese women: results from an internet-based survey., BMC women's health, 2018; 18 (1)
- 2) Kaori Nagai, Akiko M. Saito, Toshiki I. Saito, Noriyo Kaneko: Reporting quality of randomized controlled trials in patients with HIV on antiretroviral therapy: a systematic review. Trials, 2017, 28;18(1):625. DOI 10.1186/s13063-017-2360-2.
- 3) 金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一: 地方都市在住の MSM (Men who have sex with men) における調査時点までと過去 1 年の HIV 検査経験と関連要因. 日本エイズ学会誌, 2019, 21(1)
- 4) 塩野徳史, 市川誠一, 金子典代, 佐々木由理: 都市部保健所における HIV 抗体検査受検者の特性. 厚生の指標, 2018, 65(5) 35-42.

2. 学会発表

- 1) 荒木順子, 金子典代, 木南拓也, 藤原孝大, 阿部甚兵, 岩橋恒太, 高久道子, 本間隆之. akta 来場者における来場経験別の来場目的、HIV 検査行動、性行動、陽性者の身近さ. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2018, 大阪.
- 2) 岩橋恒太, 金子典代, 高野操, 岡慎一, 本間隆之, 健山正男, 市川誠一, 荒木順子, 木南拓也, 生島嗣, 佐藤郁夫, 福原寿弥, 林田庸総, 中山保世, 小日向弘雄, 今村顕史. MSM を対象とする、郵送検査手法を用いた新たな HIV 検査機会としての「HIVcheck.jp」の取り組み. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会 大阪, H30.12.2-4
- 3) 本間隆之, 岩橋恒太, 金子典代, 高久道子, 荒木順子, 木南拓也, 阿部甚兵, 藤原孝大. MSM 向けクラブイベント来場者における HIV 検査未受検者の特性. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会 大阪, H30.12.2-4

対象者の属性

	人 ¹⁾	%		人 ¹⁾	%
年齢			過去6か月間の男性との性交渉経験		
29歳以下	177	36.6	あり	475	95.2
30歳～39歳	160	33.1	なし	24	4.8
40歳以上	146	30.2	過去6か月間の特定の相手との性交渉経験		
性的指向			あり	351	73.0
ゲイ	429	86.1	なし	130	27.0
その他	1	0.2	過去6か月間の友達やセックスフレンドとの性交渉経験		
バイセクシュアル	68	13.7	あり	369	77.8
結婚相手			なし	105	22.2
あり	13	2.6	過去6か月間のその場限りの相手との性交渉経験		
なし	480	97.4	あり	318	67.4
居住地			なし	154	32.6
名古屋市	215	42.9	最も最近の特定の相手との性交渉時のコンドーム使用		
名古屋市を除く愛知県	179	35.7	あり	178	35.5
その他東海地域	107	21.4	なし	323	64.5
学歴			最も最近の友達やセックスフレンドとの性交渉時のコンドーム使用		
中学校卒業・高等学校卒、在学中	130	26.1	あり	206	41.1
専門学校・短期大学・高専卒、在学中	110	22.1	なし	295	58.9
大学卒業・在学中、大学院修了・在学中	258	51.8	最も最近のその場限りの相手との性交渉時のコンドーム使用		
身分			あり	187	37.3
公務員会社員	130	26.1	なし	314	62.7
契約派遣パートアルバイト	331	66.5	今回の検査を受ける理由（複数回答）		
自由業自営業学生無職その他	37	7.4	自分が感染している可能性があるから	147	29.3
過去1年間でのHIV抗体検査受検経験			他の人に感染させたくないから	185	36.9
あり	206	49.2	友達と一緒に受けることにしたから	61	12.2
なし	213	50.8	コンドームを使わないオーラルセックスをしたから	123	24.6
			コンドームを使わないセックスをしたから	105	21
			過去6か月間に利用したもの（複数回答）		
			ゲイバーやレズビアンバーなど	200	39.9
			有料のハッテン場	154	30.7
			位置情報が必要なアプリ（9monstersなど）	303	60.5

注¹⁾ 欠損値を分析より除外したため総数が異なる

生涯の検査経験別の特性（1）

	生涯の検査経験				p値
	あり (n=415)		なし (n=76)		
	n ¹⁾	%	n ¹⁾	%	
年齢					
29歳以下	129	73.7%	46	26.3%	0.00
30歳～39歳	135	86.5%	21	13.5%	
40歳以上	135	94.4%	8	5.6%	
性的指向					
ゲイ	360	85.7%	60	14.3%	0.234
バイセクシュアル	53	77.9%	15	22.1%	
その他	1	100.0%	0	0.0%	
結婚相手					
あり	13	100.0%	0	0.0%	0.118
なし	396	84.1%	75	15.9%	
居住地					
名古屋市	177	85.5%	30	14.5%	0.826
名古屋市を除く愛知県	149	83.2%	30	16.8%	
その他東海地域	89	84.8%	16	15.2%	
学歴					
中学校卒業・高等学校卒，在学中	98	76.0%	31	24.0%	0.008
専門学校・短期大学・高専卒，在学中	94	87.9%	13	12.1%	
大学卒業・在学中、大学院修了・在学中	220	87.3%	32	12.7%	
身分					
公務員会社員	98	76.0%	31	24.0%	0.004
契約派遣パートアルバイト	281	86.7%	43	13.3%	
自由業自営業学生無職その他	33	94.3%	2	5.7%	
今回の検査を受ける理由（複数回答）					
自分が感染している可能性があるから	124	29.9%	21	27.6%	0.693
他の人に感染させたくないから	153	36.9%	28	36.8%	0.997
友達と一緒に受けることにしたから	47	11.3%	12	15.8%	0.271
コンドームを使わないオーラルセックスをし	98	23.6%	25	32.9%	0.086
コンドームを使わないセックスをしたから	86	20.7%	19	25.0%	0.403
過去6か月間に利用したもの（複数回答）					
ゲイバーやレズビアンバーなど	173	41.7%	25	32.9%	0.151
有料のハッテン場	136	32.8%	16	21.1%	0.042
位置情報が必要なアプリ（9monstersなど）	257	61.9%	43	56.6%	0.379

生涯の検査経験別の特性（2）

	生涯の検査経験				p値
	あり (n=415)		なし (n=76)		
	n ¹⁾	%	n ¹⁾	%	
過去6カ月間の男性との性交渉経験					
あり	398	85.6%	67	14.4%	0.012
なし	16	66.7%	8	33.3%	
過去6か月間経験者における特定の相手との性交渉経験					
あり	289	84.5%	53	15.5%	0.397
なし	113	87.6%	16	12.4%	
過去6か月間経験者における過去6か月の友達やセックスフレンドとの性交渉経験					
あり	312	86.0%	51	14.0%	0.367
なし	84	82.4%	18	17.6%	
過去6か月間経験者におけるその場限りの相手との性交渉経験					
あり	267	85.0%	47	15.0%	0.762
なし	130	86.1%	21	13.9%	
最も最近の特定の相手との性交渉時のコンドーム使用					
あり	150	85.7%	25	14.3%	0.587
なし	265	83.9%	51	16.1%	
最も最近の友達やセックスフレンドとの性交渉時のコンドーム使用					
あり	180	89.1%	22	10.9%	0.019
なし	235	81.3%	54	18.7%	
最も最近のその場限りの相手との性交渉時のコンドーム使用					
あり	166	90.2%	18	9.8%	0.007
なし	249	81.1%	58	18.9%	

注¹⁾ 欠損値を分析より除外したため総数が異なる